

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.679

2025年7月29日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

~~Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION~~

2025年度第1四半期決算について確認

~~Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION~~

7月29日、2025年度第1四半期決算の発表を受け、速やかに会社にお問い合わせ、確認を行ったところ以下の説明を受けた。

当第1四半期の運輸収入は、東海道新幹線・在来線ともにご利用が好調に推移したため増収となり、過去最大となった。さらに、グループ会社についても増収となり、連結営業収益は前年と比べ増加した。一方、営業費は、当社及びグループ会社における人件費等の増により増加したが、増収・増益の決算となった。なお、通期の業績予想については、前回予想を据え置くことを確認した。

当第1四半期の運輸収入が業績予想における想定を上回る前年度比111.3%となったのは、組合員が業務に精励し、安全・安定輸送の確保に努めたことの証左である。

引き続き、鉄道の原点であり、全ての施策の大前提となる安全の確保を最優先として、生活様式や働き方の変化によるニーズの多様化、労働力人口の減少等、当社を取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、最新のICT等の技術を活用して効率的な業務執行体制を構築する「業務改革」と新しい発想による「収益の拡大」の2つを柱とした経営体力の再強化に取り組むことを確認した。

JR東海ユニオンは『将来宣言』に基づいた労使関係をより強固にし、率直な意見交換を重ね、JR東海グループが一体となって、様々な課題の解決に主体的に取り組んでいく。

□2025年度第1四半期 連結決算の概要

	実績	前年度との差異	前期比
営業収益	4,782億円	+429億円	109.9%
営業費	2,570億円	+60億円	102.4%
営業利益	2,212億円	+368億円	120.0%
経常利益	2,075億円	+362億円	121.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,452億円	+254億円	121.2%

※確認内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。